

指揮コース

- 作曲コース
- デジタルミュージックコース
- 指揮コース**
- サウンドデザインコース
- ピアノ演奏家コース
- ピアノ指導者コース
- ピアノ音楽コース
- オルガンコース
- 電子オルガンコース
- 弦管打楽器コース
- ジャズコース
- ポピュラー音楽コース
- 声楽コース
- アートマネジメントコース
- 舞台スタッフコース
- 音楽療法コース
- ミュージカルコース
- バレエコース

試験科目	内容	注記	A O	給 費 生	公 募 推 薦	一 般 前 期	一 般 後 期
1	主科実技課題 以下の(1)~(3)のすべてを受験する (1) 指揮実技 次の(a)(b)(c)の中から当日指定 (a) W.A.Mozart : Overture to <i>Die Zauberflöte</i> K620 (オペラ《魔笛》序曲) (b) L.v.Beethoven : Overture to <i>Egmont</i> Op.84 (《エグモント》序曲) (c) W.A.Mozart : Symphony No.38 in D major K504 (2) 楽器演奏実技 ピアノまたは弦・管・打楽器の中から任意の楽器を演奏する (3) スコアリーディング ピアノで初見視奏	※(2)の楽器演奏実技については、任意の独奏曲または練習曲を、いずれも暗譜とする。 ※(3)のスコアリーディングについては予見1分。	○	○	○	○	○
2	ソルフェージュ課題 A. 以下の(1)および(2)の両方を受験する (1) 聴音 旋律聴音2題、および和声聴音1題(上三声密集四声体) (2) 以下の(a)または(b)のいずれかを選択する (a) F.Wüllner : Chorübungen der Münchener Musikschule (コールユープンゲン第1巻) No.33~59(原書番号)の中から1曲を当日指定 (b) 新曲視唱 B. 以下の(a)~(c)のいずれか1つを選択する (a) 旋律聴音2題、および和声聴音1題(上三声密集四声体) (b) F.Wüllner : Chorübungen der Münchener Musikschule (コールユープンゲン第1巻) No.33~59(原書番号)の中から1曲を当日指定 (c) 新曲視唱	※聴音および新曲視唱の実施方法と例題は●ページを参照。唱法は固定ド、移動ドいずれでもよい。	○	○	○	○	○
3	副科ピアノ 自由曲1曲	※繰り返しなし。暗譜でなくてもよい。	○	○	○	○	○
4	主科面接	※主科実技に対する試問を含む。	○	○	○	○	○
5	AO面接	※AO面接は主科面接の中で行う。	○				
6	給費生作文 指定する作曲家のうち一人を選び、その伝記を読んで、試験当日に課題作文を書く。伝記は単行本に限り、辞書・辞典類の項目は認めない。当日参照不可。／60分 詳細は●ページに記載。			○			
7	給費生面接			○			
8	一般科目 A. 本学で行う以下の一般科目(a)~(c)の中から1科目を選択して受験(45分) (a) 英語(I・II) (b) 国語(国語総合、国語表現I、ただし古文・漢文を除く) (c) 数学I B. 大学入試センター試験の成績を利用する 以下の(a)~(f)の中から2教科2科目を選択 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語	※「国語」「地歴」「公民」「数学」「理科」「外国語」について3教科・3科目以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目毎100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細については38ページを参照。				○	○